

～参画と協働のまちづくりをめざして～

こうべまちづくり学校、創設

安全・安心で、市民が主役のまちづくりをすすめるため、よりわかりやすく、総合的に“参画と協働のまちづくり”について学び、考える場として平成14年4月「こうべまちづくり学校」を創設します。

様々なまちづくりの情報をわかりやすく提供するため、旧市民局、都市計画局、住宅局でこれまで開催してきたまちづくりに関する講座等を統合し、充実をはかるものです。

◆まちづくり学校の目的

この学校の目的は、次の3点にまとめています。

1. 「参画と協働のまちづくり」を進めるため必要な知識、情報を提供し、まちづくりについて考える場とします。

2. 各講座で習得した知識を活かし、地域のまちづくりを担う人材の育成をはかります。

3. 震災からの復興過程を経験した神戸のまちづくりを全国に向け発信します。

◆内容

この学校は、「基礎講座」と「専修講座」から構成しています。

基礎講座では、神戸のま

ちづくりの歴史や景観、防災・防犯などまちづくりに関する基礎的なことを学びます。

5月21日(火)から始まりますが、ただいま募集中です。(基礎講座の内容は、四面をご覧ください。)

専修講座は、防災・防犯、景観、コミュニティづくりなど、14年度は7コースを予定しており、それぞれの分野についてより詳しくまちづくりを学びます。

9月からコースごとに順次開講し受講の受付は、7月頃を予定しています。

◆受講を希望される方へ

詳しいパンフレットは、お近くの区役所まちづくり推進課などにありますので一度ご覧ください。

今回の基礎講座の受講を希望される方は、お名前(ふりがなをお願いします)、ご住所、性別、電話番号を明記の上事務局まで、ハガキ又はFaxでお申し込みください。

基礎講座をただいま受付中!

神戸市民大学連携
「あじさい市民大学」
こうべまちづくり学校
～参画と協働のまちづくりをめざして～

まなび十色 第十色
マナビイ in KOBE

平成14年4月創立

お問い合わせは、こうべまちづくりセンター

電話078-361-4523まで

『第5期 こうべ市民安全まちづくり大学』 修了式典

昨年9月に開講した第5期「こうべ市民安全まちづくり大学」が3月5日に修了式典を迎えました。本大学の学長・森脇 俊道 氏（神戸大学都市安全研究センター長）と、鶴崎 功 神戸市助役をお迎えして、ごあいさついただきました。その後、証書の授与に移りました。



「昨年9月からの半年間、防災・防犯・まちづくりについて勉強され、ほとんど落伍することなく修了されると聞きまして、本当に頭が下がる思いです。私共（神戸大学）としても“

前で講演する機会というもの大切にしたいと考えています。これからはこの大学で学んだことを活かして、神戸のため、地域のために貢献していただきたいと思います。」（学長・森脇 俊道）

（↑学長から入門・まちづくり各講座の修了証書を授与）



「この半年間お忙しい中を、この大学にご参加いただき本当に有難うございます。最近特に、災害やテロに関してハード的な対応がよく話題になりますが、市民一人ひとりの「心の危機管理」も大切です。世紀末を越え21世紀に入っても不安の多い世情に対し、足腰の強いまちを支えるのは人の力や知恵ですし、地域の力無くしてまちは成り立たちません。これからも神戸のまちづくり・幸せづくりのため、ご尽力いただくようお願いいたします。」（神戸市助役・鶴崎 功）

（↑助役から市民安全推進員の委嘱状を授与）

今年度は、入門講座を105名が、まちづくり講座を70名が修了し、66名の市民安全推進員が新たに誕生しました。これで、昨年度までの推進員と合わせて、269名の市民安全推進員が登録されたこととなります。

修了式に続いて、神戸大学都市安全研究センターの沖村 孝教授から、「神戸の土砂災害について」と題して、修了記念講演をいただきました。

※ともすると難しい物理学の知識が必要なところ、分かりやすく丁寧に講演いただきました。

約90分に亘るご講演全てをここに掲載するのは難しいので、レジュメの項目だけ挙げさせていただきます。

（ご興味のある方はどうぞ次年度ご聴講においでください。）

1. 近年に発生した土砂災害
2. 土砂災害の種類
3. 山くずれのメカニズム
4. 六甲山で過去に出現した山くずれと災害
5. 山くずれなどの対策とその効果
6. 山くずれ予知・予測手法とその問題点
7. 兵庫県南部地震と山くずれ
8. これからの防災の考え方
9. 災害はいつでもやってくる



講演終了後、修了者に修了証書を、市民安全推進員の委嘱者には委嘱状をお渡しして全日程を終了しました。第5期のみなさん、熱心にご受講いただき本当に有難うございました。

（お知らせ・1）4月1日の「広報こうべ」等でお知らせしておりますが、本「こうべ市民安全まちづくり大学」は今期をもって運営を終了します。平成9年度開校より5期・5年にわたり、多くの方にご参加・ご愛顧いただきました。事務局一同、心から御礼申し上げます。新年度からは、都市計画局や住宅局と一緒に「こうべまちづくり学校」の運営に参画します。この旧「こうべ市民安全まちづくり大学」で培ったノウハウを活かし、さらに市民の方に対する「安全で安心なまちづくり」の啓発に努めたいと思います。新たな学校にご期待ください！

※我が旧大学の殆どを継承したコース（「安全で安心なまちをつくる」防犯・防災コースとコミュニティづくりコース）が、専修講座の中に創設されます。

募集・受付は7月～です。詳しくはこうべまちづくりセンターまで。

（お知らせ・2）旧大学事務局を務めました「市民局市民安全推進室安全企画課」は、4月1日の職制改正により「危機管理室」（部名・課名なし）となりました。連絡先等は以前と同じです。

「コンパクトタウンづくり」活動報告

第1回 おおぞうちょう 大沢町（神戸市北区）

■大沢町について

神戸市北区の北部、吉川町に隣接する農村地帯で、人口約1,400人、面積は長田区とほぼ同じ約13km²の町です。稲作を中心とした農業が基幹産業で、兼業農家を含む農業世帯数は全世帯の8割にのぼります。

豊歳神社や淵上家住宅などの文化財、棚田、フルーツ・フラワーパークなど、多くの地域資源と豊かな自然、歴史と文化が調和した地域です。



昭和26年の神戸市合併時に約2,000人だった人口は、その後ゆるやかに減少を続け、人口の減少とともに少子高齢化も進んでいます。また、農業の担い手や小中学校の児童の減少などが課題となっています。

■大沢町コンパクトタウン研究会

「まちの課題を解決し、住民自身でよりよいまちにしていこう」と、平成12年7月、まちの住民とJA・関西学院大学・行政をメンバーとした「大沢町コンパクトタウン研究会」が結成され、10年・20年先を見据えたまちづくりに取り組んできました。

ほぼ毎月メンバーが集まり、まちの課題の検討を行い、人口の減少、農業の衰退、交通の不便さの解消という3つの大きな課題を解決するため、テーマごとに部会（まちづくり、農業活性化、交通）を設けて、それぞれ具体化を目指してきました。

■発表会レポート

これまでの研究会の活動を町内のみなさんに知ってもらい、意見をいただこうと、平成14年2月26日、大沢町内のフルーツフラワーパークで、中間発表会を開催しました。

平日の夜にもかかわらず、人口の1割にあたる130名の大沢町住民のほか、近くに位置する



関西学院大学の学生、コンパクトタウンづくりに取り組んでいて昨年から交流のある野田北部地区（長田区）や渦森台地区（東灘区）などからも参加者がおり、180名が集まりました。関西学院大学の学生による

発表のあと、研究会全体の活動と、テーマごとに検討してきた3部会からの報告がありました。

★まちづくり部会

- ・大沢町のまちづくりの目標像づくり
- ・ひまわりの油絞りイベントで都市との交流を図り、大沢町内ひまわり街道でイメージアップをめざす
- ・町内のイベントなどの情報の集約・発信体制づくり
- ・新しい住民との共生を目指す田園都市構想

★農業活性化部会

- ・やりがいと楽しさのある農業を考えていこう
- ・地場産の新鮮な野菜を販売する農産物直売所
- ・ピオトープでの子供達のメダカの観察会、魚沼産コシヒカリの次においしい(?)大沢米の食味会を実施

★交通部会

- ・町内の企業の従業員用送迎バスなど、大沢町の既存の資産を活かしたコミュニティバス計画



- ・お年寄など交通弱者へのきめ細かな町民の足となるカーボランティアと配食サービス

最後に、研究会でアドバイザーを務める加藤晃規先生（関西学院大学教授）から、「この大沢町の取り組みは、自主性・実行力の点でたいへん評価できる。今後も自らの動機で、持続性のある活動を続けていくことを期待したい」との講評をいただきました。

参加者アンケートでは「このように具体化されて進められていることを初めて知った」「大沢住民の一人として何が自分にできるか考える機会ができた」「もっと質問の時間をとれば参加者の考え方がもっとよくわかったのでは」などの意見が寄せられました。

■発表会で司会を務めた、稲生芳子さんのおはなし

私たちの活動は、まだスタートラインに立ったばかりかもしれません。大沢町が「住みたい・住んでよかった・住み続けたい」まちになるように、できることから一歩ずつ進めていき、次の世代にうまくバトンタッチしていけたらと思っています。



（企画調整局総合計画課・北区まちづくり推進課）

基礎講座の内容

日程	5月21日(火)	5月28日(火)	6月11日(火)	6月18日(火)
講座名	①創立記念式典 ②神戸のまちづくり	すまいから始める まちづくり (基礎編)	①神戸のまちなみ景観 ②コンパクトタウン づくり	NPOとまちづくり
講師	②安田 丑作氏 神戸大学 工学部教授	平山 洋介氏 神戸大学 発達科学部助教授	①三輪 康一氏 神戸大学 工学部助教授 ②神戸市企画調整局 総合計画課主幹	小林 郁雄氏 まちづくり(株) コー・プラン 代表取締役
内容	神戸のまちづくりの歴史や震災後のまちづくりの取り組み等を通して、神戸のまちづくりの特色をわかりやすく解説します。	震災の経験を踏まえ、これからのすまいや住まい手どうしのコミュニティによるまちづくりを解説します。	①神戸の都市景観やまちなみの特徴、優れた景観を形成していくためのこれまでの取り組み等を解説します。 ②震災後の神戸のまちづくりの総合的な取り組みとして、コンパクト外を解説します。	新たな公共・公益サービスの担い手として注目されるようになった市民活動団体(NPO)の成立過程や活動状況を概観しつつ、これからの地域でのまちづくりに果たす役割や課題を解説します。
時間	午後6時30分～8時30分(受付開始 午後6時～)			
会場	神戸市教育会館 神戸市中央区中山手通4丁目10-5 TEL 078-222-4111			
費用	無 料			
定員	200名 ※先着順で受付けて、定員になり次第締め切ります。			
申込み	下記必要事項をご記入の上、事務局までお申し込みください・ 事務局 こうべまちづくりセンター 〒650-0022 中央区元町通4丁目2-14 Fax 078-361-4546・E-mail:mati@kobe-toshi-seibi.or.jp ハガキ・Fax・E-mailでお申し込みください 必要事項 ——お名前(ふりがな)、ご住所、性別、電話番号			
締切	平成14年4月30日(火)			
その他	・各講座の内容、日程については都合により変更になることがあります。 ・この講座は3回以上の出席で修了となります。			

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

4月1日(月)～30日(火)	垂水区舞子地区でのまちづくり	垂水区まちづくり推進課
----------------	----------------	-------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
4月 4日(木)～ 9日(火)	玄恵シルクアート ～あいかわらず あい かわらず～(染)	松岡 伸江(玄恵)
4月11日(木)～16日(火)	第16回火彩会作品展(水彩)	火彩会
4月18日(木)～23日(火)	聖雲会第21回水墨南画展	聖雲会
4月25日(木)～30日(火)	いくた15人展	いくた15人展
5月 2日(木)～ 7日(火)	木彩会洋画作品展	木彩会